

第9回 昭和の森親子田んぼ教室

親子田んぼ教室 草とり編

武田宏子（千葉市）

日 時：2015年7月18日（土）9:30～12:00 天気：晴れ

参 加 者：子ども7名、大人6名、合計13名

担当指導員：山下美佐子、山田益弘、花島伸美、武田宏子

応 援：佐野由輝、岡田富子

昭和の森ビオトープの畠田を利用しての親子田んぼ教室は、今年で4年目です。5月、小雨降る中で田植えをした苗は、60日余りの間に、緑濃く、葉先をピンと空に向かって伸ばし、たくましく育っていました。成長ぶりを計測しました。稲の高さ80cm。3株だった苗は分けつ（分けつ）し19～30株に増えていました。その成長ぶりに、子どもたちも大人もびっくり。田んぼの中にはコナギなどの水田雑草もびっしり、畦の草もだいぶ伸びていました。肥料をあげていないのに、太陽と昭和の森の栄養を含んだ豊かな湧水や土の力はすごいものです。子どもたちは畦の草刈り、大人は田んぼに入って田の草取りをしました。田んぼに手を入れた子どもが「水がぬるい」というので、温度計で計ると32℃ありました。

作業終了後、木陰で、紙芝居「稻の成長」。これまでの苗の成長を振り返りました。指導員作成の大型紙芝居はとてもわかりやすく好評でした。田んぼの生き物のつながりも学びました。その後、昆虫網や漁網を持って、田んぼやその周りにどんな生き物が生息しているのか探検しました。捕獲して、触れて、調べて、生き物の観察をじっくり楽しみました。

稻の中には、わずかに穂をだしているものもあり、次回、稻刈りが楽しみです。
子どもたちがゲットした生き物

トンボ（ノシメトンボ、ナツアカネ、イトトンボ）、ヤブキリ、クモ、アメンボ、カワニナ、ゲンゴロウ、マツモムシ、センブリ、メダカ、アメリカザリガニ、コミズムシ、アマガエル・・・

参加者の感想から

子ども：①虫とりが楽しかった。②ザリガニを持つのが楽しかった。

大人：①普段せかせかした生活をしているので、自然とかかわってうれしかった。

②子どもたちが虫採り楽しそうだった（やったことがない）。③生態系の表を見ながら生き物の仕組みが分かって楽しかった。④普段目にできないものを触ったり、体験したりよかったです。⑤絵入り紙芝居がわかりやすかったです。⑥自分の子どものころの体験を子どもに教えることができて良かった。

